

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

ミステリーズ・ナイト 球体

見つけたぞ
あれが女性が
言ってた
球体か!?

たぐち えつお

西暦二〇二〇年
八月一日 僕は
女性との約束で
○×平原に来た

一体どこから
こんな沢山の
球体が来たんだ?

大学受験を控え
学習塾から帰る途中
女性が僕の前に
突然現れた

ハッイ

?

受験勉強
頑張ってる？

なんで
知ってるの？

キミの事は
何でも
知ってるよ

あなたは
誰なん
ですか？

私の事など
どうでもいい
それよりキミの
命に係わる
事を話す

ギク



女性の話しの内容はこうだ
来月八月一日の夕方
○×高原のふもとに行き
そこに球体があるから
一つ持って来てほしいと



僕の命に
係わる事って
何ですか？



指定の場所は
近くだった



これで
いいや

僕は球体の一つ取ると
女性が指定した場所へ
急いだ



あれが
待ち合わせ
場所!?

うそ



この辺
だけどな



だったら
ここまで早く
上がって来て

約束通り
球体を
持って来た？

あんな高い
所まで……



なんとか上まで
上がった



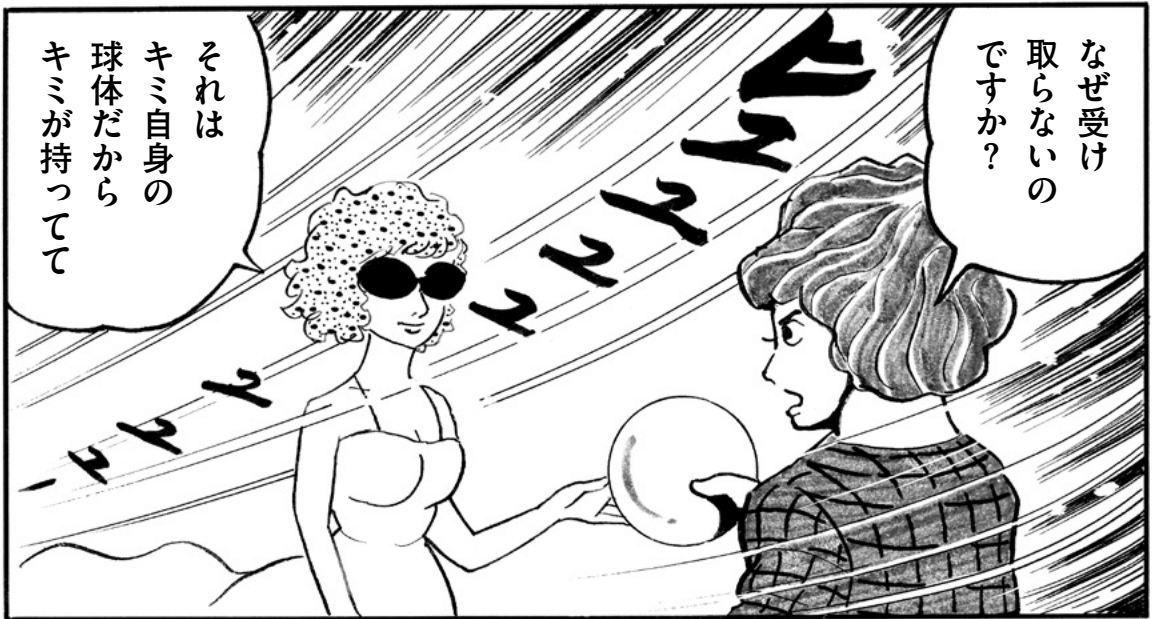
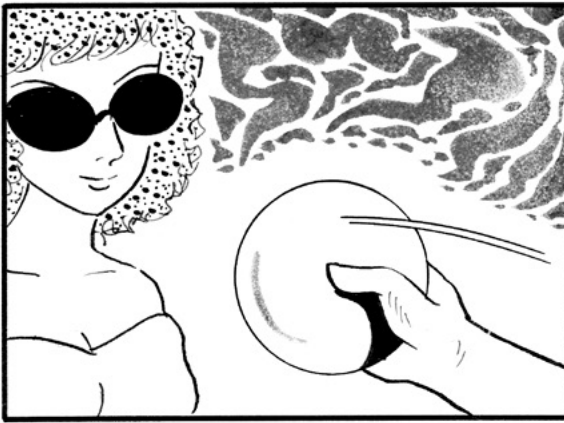
ふう

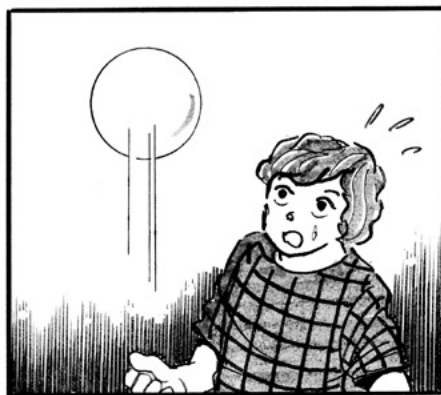
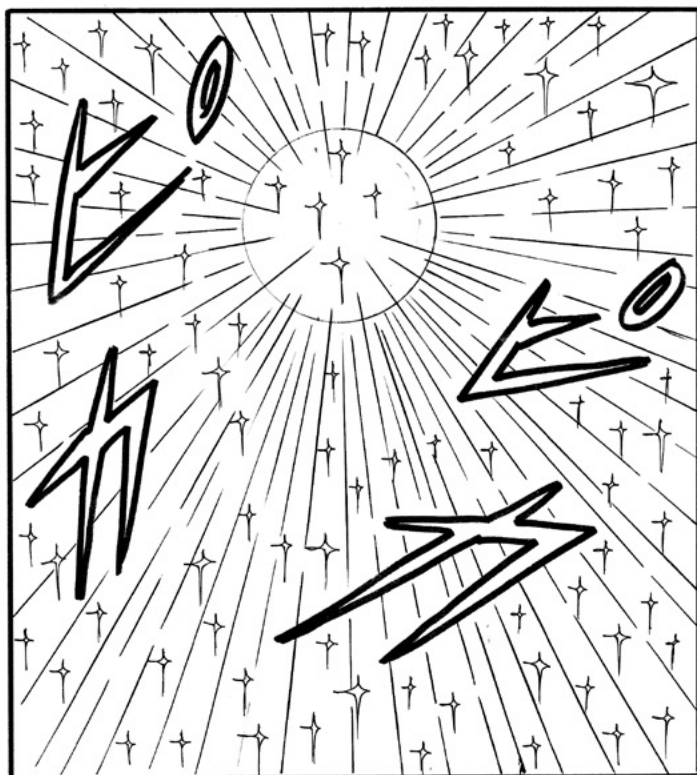
階段は
急斜面で
きつかった

ふう



少し怖い
が
上がって
行った







わが愛しい
子供達よ
人間どもの所へ
飛んで行き
クローンに
なるのだ!!





そして一ヶ月後には
日本人の全てが
クローン人間として
生れ変わった



自分が
クローンだと
自覚が無い
ままに



球体は空高く
舞い上がり
四方八方へと
飛び去って行った



彼女の命令一つで
クローン達は
子供から年寄りまで
一斉に行動するように
プログラムされていた

私はこの国に
ユートピアを創る
ことが目的だ
オホホホ



一度この島国の
人間を全て
消滅させたかった

どうせ
ろくな人間しか
いないのだから



さらに恐ろしい事は
クローン達の脳内に
爆弾が埋め込まれて
いつでも自爆が
可能な状態だった

さーて
いつ自爆指示を
出そうか
楽しみだ!!

オオオオ
END